

平成23年7月11日に長野県長野市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月11日17時頃に長野市川中島町今井から篠ノ井杵淵にかけて突風が発生し、倉庫の屋根の飛散などの被害が発生した。

このため12日、長野地方気象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施した。

結果は以下のとおりである。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定には至らなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・ 被害は点在しており、被害や痕跡の分布に、帯状、円状など竜巻やダウンバースト等に特徴的なものは見られなかった。
- ・ 聞き取り調査からも、現象の特定に結びつく目撃情報や証言を得られなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ 倉庫の屋根の飛散があった。
- ・ 根の弱い樹木が倒れた。
- ・ 住家の屋根瓦のめくれがあった。

このほか、長野市安茂里でも突風によると思われる倒木の被害が発生しているが、現象については不明である。

* この資料は、最新の情報により内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
長野地方気象台 防災業務課
電話026-232-3773